※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「論理国語」　（数研出版）、「名作を味わう　定番小説選」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字や語彙の力を伸ばし、将来社会で活躍するための国語力を身につけましょう。
・授業以外でも読書に親しみ、言語感覚を磨くようにしましょう。
・授業では、課題に対して話し合いや文章記述など、自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけてください。
・提出物の期限を守り、予習、復習、試験勉強などは計画を立てて臨むようにしましょう。

２　学習の到達目標

- 実社会のみならず、生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の近現代文学に対する理解を深めることができるようにする。
- 近現代の文章に対して論理的・批判的に考える力と、自分の抱く共感や想像をふまえて創造的に考える力の両方を相互的に養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会のみならず、生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の近現代文学に対する理解を深めることができるようにしている。	近現代の文章に対して論理的・批判的に考える力と、自分の抱く共感や想像をふまえて創造的に考える力の両方を相互的に養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の考えに対する自分の意見を、根拠とともに文章にまとめる。 ［教材］逆説/手の変幻	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。［(1)ア］ b［　読　］：「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。［B(1)エ］ c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	論理的な文章を読んで、個人と社会のつながりについて話し合う。 ［教材］具体と抽象/「内的成長」社会へ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。［(1)イ］ b［　読　］：「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。［B(1)オ］ c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考え発表する。 ［教材］情報と社会/白紙	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。［(1)ア］ b［　読　］：「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。［B(1)ウ］ c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	作品設定の意図を考察する。 ［教材］山月記	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。［(1)ア］ b［　読　］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。［B(1)ア］ c：人間が虎になるという設定の効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
2	作品の主題を話し合う。 ［教材］大正の小説/こころ	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。［(2)ア］ b［　読　］：「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。［B(1)キ］ c：粘り強く『水仙』と『忠直卿行状記』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	文章の内容を踏まえて、自分の考えをまとめる。 ［教材］文章の背景/【探究の扉】現代日本の開化	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。［(2)ア］ b［　書　］：「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

		図に応じた適切な題材を決めている。[A(1)ア] c: 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。			
	論理的な文章を読んで、筆者の考えに合う具体例を考え発表する。 [教材]言葉と創造/添削の思想	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア] b[　読　]:「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。[B(1)キ] c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	論理的な文章を読み、筆者の考えを踏まえて自分の意見を書く。 [教材]近代と現代の視点/〈近代〉の入口と出口の間	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。[(1)ア] b[　読　]:「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。[B(1)ウ] c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
3	作者の心情について他の作品も踏まえて、考えをまとめる [教材]詩歌/永訣の朝	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] b[　書　]:「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。[A(1)エ] c:宮澤賢治の妹への心情や兄妹のつながりを粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 行動観察
	筆者の考え方に対する自分の意見を、具体例とともに説明する。 [教材]言葉と思考/野生の「クジラ」と人間の「鯨」	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。[(2)イ] b[　読　]:「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。[B(1)オ] c:文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　30　)時間

・読むこと　…　(　110　)時間